

鋼橋の桁端補修工法

③-2 アルマグ溶射工法

ブラスト+アルミニウム・マグネシウム金属溶射

桁端部の防食として耐久性が高く、安全な素地調整及び金属溶射工法をご提案します。

■モイストエアブラスト



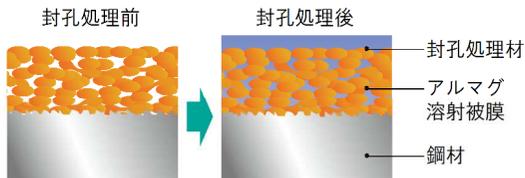
微量の高圧水を供給することにより、ブラスト作業時の粉塵を低減します。

■アルマグ溶射工法



厳しい環境下においても防食性に優れたアルミニウム・マグネシウム金属溶射により鋼材の防錆を行う工法です。一般塗装に比べ、鋼材部の耐久性を向上させます。

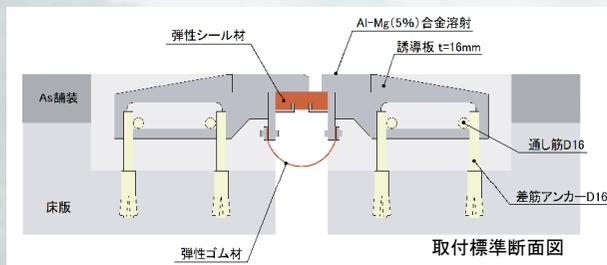
■封孔処理材



溶射後は高浸透型ウレタン系封孔処理材を塗布することにより、金属溶射皮膜表面に保護層を形成し、防食効果を高めます。

①-4 アルマグジョイント

橋梁用伸縮装置（北陸地方整備局標準設計EJ-Iタイプ）



耐久性・止水性・走行性に優れたシンプルなT型構造の伸縮装置です。表面仕上げに高耐候性のアルマグ溶射を行うため、優れた防食性能を有します。

② KFシールテクトYKB工法

構造物の隙間やジョイント部の漏水対策に



独自のウレタン合成技術によりゴム弾性を有する塗膜を形成する塗料による遊間防水工法。施工形状を選ばず高い防水機能を保持します。

④ 沓座表面保護工

沓座周辺の表面保護と排水対策

④-1

■HPFRCC

ひび割れ抵抗性、付着力、耐摩耗性に優れたHPFRCC（高靱性繊維補強セメント複合材）により、勾配を設け、沓座の排水を助けます。

④-2

■ビルテクト-100E

表面に塗布することで、コンクリート内部に深く浸透し、強固な防水保護層を形成します。コンクリート内部への水分および劣化因子の浸透を抑制します。

